

健康まつり



歯科コーナーでのブラッシング指導

9月9日、大槌町健康まつりが開催されました。「健口から健康へ！輝け未来の歯ッピライフ」をテーマに、お口の健康を考えるためのイベントが催され、岩手医科大学の岸教授の協力のもと、□の検診などが行われました。また会場では、歯の健康のための「まごわやさしい」弁当の販売、むし歯予防の寸劇などが行われ、来場者は歯の健康について興味津々に耳を傾けていました。



岩手医科大学歯学部
岸 光男 教授

口腔がんは、定期的に歯科を受診することで、原因を取り除くことができます。前兆が表れた時に発見して治療することが大切です。誰でも食べることは大きな楽しみです。その楽しみを失わないように、歯が痛くないときでも検査を心がけましょう。



まめ、ごま、わかめ、やさい、さかな、きのこ、いもを使った「まごわやさしい」弁当



食生活改善推進員考案 よく噛むための「かみかみくつきー」



僕たち、私たち、むし歯ゼロです！



※表彰式参加者のみ掲載



8月28、29日、大槌まつりより一足早く、吉里吉里まつりが開かれました。29日には、天照御祖神社神幸祭が行われ、神輿とともに、地域の郷土芸能団体が行列を作りました。

区画整理事業などにより、国道や街区の形が変化したり、新たな住宅が増えたりしている吉里吉里地区ですが、道順は変わったものの、神輿と行列は昔からの御旅所へ赴き、神楽や鹿子踊り、虎舞などが奉納されました。沿道には、多くの人が祭りを見るために集まり、力強い舞いに、大きな拍手と歓声を送りました。



吉里吉里まつり

おおつち敬老の集い

9月3日、町内の高齢者の方々の長寿を祝う、敬老の集いが行われました。イベントには、77歳以上の方が訪れ、平野町長から、お祝いの言葉と、節目となる77歳、88歳、99歳の方々へお祝いが贈られました。その後、おさなご幼稚園、老人クラブ連合会、フラダンス「マカナアロハ」によるステージが披露され、老若男女の元気な姿に、会場は笑顔であふれました。88歳になる瀬田ヤラさんは、「体が元気なら、草取りでもなんでも、世の中の為に働きたい。今はカラオケや民謡を歌うことが何よりの楽しみです」と、元気の秘訣を語ってくれました。



一兜三郎さんの踊り「島の船唄」



拍手を送る瀬田さん（左）



老人クラブ連合会女性部「寿酒」



芳賀アイさんの歌う「人生一路」